

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1		災害対策ではご近所の方に災害時にどのような事をお手伝いして頂くか具体的なことを伝えきれていない。協力体制の確立ができていない	地域の方々グループホームに来ていただき、グループホーム内と利用者について知っていただく。協力体制の確立。	地域運営推進会議や行事等に近所の方々に参加していただき、室内の構造や具体的に災害時にお手伝いしていただきたい事をお伝える。実際に実施する際には、プリントやポスターなどを配布し、関係者の方々への参加を促し、ご近所の方のアドバイスなどもお聞きする。また、機会があれば、町内の会合に出席したり、地域の消防団の方々との避難訓練にも参加してみる。	12 か月	
2		ケアプランに本人や家族の思い、意向が反映されていない。モニタリングが次回のケアプランに反映されるよう方法を見直す。	モニタリングの記録を家族、利用者の言葉で具体的に残して行く。	本人、家族に思いや希望を聞いてみる。面談、電話、手紙などにて最低月に1回は家族と具体的なケアについての話ができるようにする。又、ケアプラン作成時に面談できない場合、内容の詳細について文章で添え評価をして頂けるようにする。	12 か月	
3		事業所の理念を職員一人一人が毎日意識付けて仕事が出来てないこともある。	職員が意識を持って仕事をする。理念の意味をもう一度考える	ミーティングで理念の意味を復唱するだけではなく意味や意識付けについて話し合いを持つ機会を増やす。また、毎日意識付けて仕事ができるようもう一度考え見直す。	4 か月	
4		利用者さんへの言葉使いができていない。プライバシーが守られていないところがある	介護の質の向上。言葉使いの見直し。	ミーティングにて勉強会を行ったり、スタッフ同士お互いに言葉使いや対応が気になったら注意しあえるようにする。丁寧な声かけや対応をスタッフ一人一人が心掛けるようにする。居室内にあるバットやオムツ、ポータブルトイレの置く場所等、配置を考え個々のプライバシーを守る。	12 か月	
5		利用者さんにとって食事は楽しみのひとつであるが、一人一人の好みや状態等を踏まえた支援が出来ていない時がある。	一人一人の好みや力を活かしながら支援し、工夫していく。	食材にはCOOPの宅配を利用しているので、利用者の方々にも選んでもらったり、メニュー決めや作りに参加して頂けるよう声かけする。また、お誕生会や、行事の際には、普段と違うメニューにしたり、食器を変えたり工夫してみる。外食も希望をなるべく取り入れてあげられるようにする。おやつのお買い物と一緒に行きみんなで食事やおやつを楽しめるよう心掛ける。	12 か月	
6		急変時や事故発生時の対応について勉強不足である。	介護の質の向上。夜勤帯の不安解消。	急変時の対応や事故発生時の対応について年に一回だけでなく勉強会をする。また、ホーム内だけでなく外に講習を受けに行ったり、他のグループホームに行ってお話を聞いたりして個々のレベルアップに努める。スタッフ一人一人が利用者の身体について理解し、良いケアを身につけていけるように心掛ける。	12 か月	
7		ご家族や地域の方々との結びつきが今以上に必要である。	家族や近所の方との結びつきを深める	地域運営推進会議や食事会、お茶会等でお話する機会を設ける。バザー等のホームの行事への参加を呼びかける。地域行事へ積極的に参加する。近所の商店に買い物へ行く。グループホームでできた野菜を近所の方へもおすそ分けできるようにしたい等ホームに気軽にきて頂ける方法をミーティング等で考える。また、地域の子供達とコミュニケーションをとれる行事を考えてみる。普段からの挨拶などお付き合いができるよう心掛ける。	12 か月	

### サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取 り 組 ん だ 内 容	
実施段階		( 該当するものすべてに 印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="checkbox"/>	運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="checkbox"/>	利用者へサービス評価について説明した
		<input type="checkbox"/>	利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="checkbox"/>	運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="checkbox"/>	その他( )
2	自己評価の実施	<input type="checkbox"/>	自己評価を職員全員が実施した
		<input type="checkbox"/>	前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="checkbox"/>	自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="checkbox"/>	評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="checkbox"/>	その他( )
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="checkbox"/>	普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="checkbox"/>	評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="checkbox"/>	対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="checkbox"/>	その他( )
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="checkbox"/>	運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="checkbox"/>	利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="checkbox"/>	評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="checkbox"/>	運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="checkbox"/>	その他( 利用者家族に評価結果を報告した )
5	サービス評価の活用	<input type="checkbox"/>	職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="checkbox"/>	「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="checkbox"/>	「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="checkbox"/>	「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="checkbox"/>	その他( )